

自然災害時における

太陽光発電システムの取り扱いについて

1 全部が水没、または一部が浸水した場合

感電する恐れがありますので、太陽光発電設備のパワーコンディショナーや太陽電池パネルと電線との接続部には、近づいたり、触れたりしないでください。

2 漂流物などにより、機器類が破損している場合

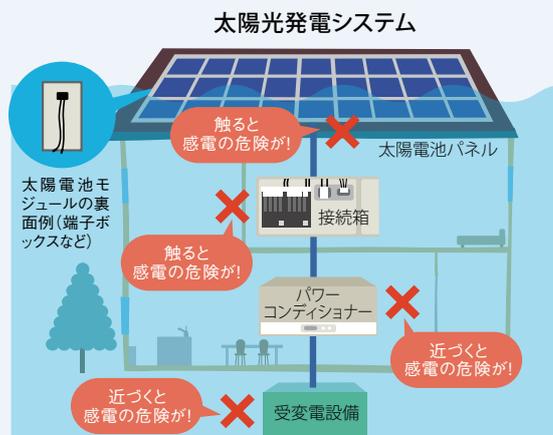
太陽電池パネル、接続箱およびパワーコンディショナーが破損したり、接続している電線が切れたりしている場合は、感電する恐れがありますので、近づいたり、触れたりしないでください。

3 太陽電池パネルの取り扱い

接続された状態の太陽電池パネルは、日射を受けて発電し、高い電圧／電流が発生するため、周辺にロープを張るなど、関係者以外が不用意に立ち入らないよう対策をしましょう。

4 パワーコンディショナーの取り扱い

浸水したパワーコンディショナーは、太陽電池パネルが接続された状態の場合には、ショートや発熱する可能性がありますので、近づいたり、触れたりしないでください。



災害後は太陽光発電システムの機器類には絶対に触らないようにし、速やかにミサワホームにご連絡ください。

自然災害時における

蓄電システムの取り扱いについて

1 全部が水没、または一部が浸水した場合

感電、有害ガスの発生、発熱・発煙・発火などの危険がありますので、近づいたり、触れたりしないでください。

2 機器が流されたり、漂流物などと接触したりして衝撃を受けている場合

機器本体、または電線が損傷している可能性があり、感電しやすくなります。また、衝撃により、固定金具が破損していると機器が転倒する危険も。さらに、内部の電池が損傷すると、発熱・発煙・発火しやすくなったり、電解液が漏れたりする場合があります。機器本体および漏れた電解液には決して触れないでください。



災害後は蓄電システムの機器および電解液には絶対に触らないようにし、速やかにミサワホームにご連絡ください。